

自治ひろこ

1647号

2024. 3. 1

月2回(1日、15日)発行 定価10円
購読料は組合費に含まれる。
自治労兵庫県本部
書記長/尾西亮太郎・編集人/秦 信昭

当面の日程

- 2日 連合兵庫・政策制度要求実現総決起集会 (各地協別に開催)
- 9日 社会福祉協議会関係労組(団体)交流会 (播磨ブロック/ウェブ)
- 15日 春闘全国統一行動日
- 16日 県本部卓球大会 (洲本市文化体育館)

発行 全日本自治団体労働組合 兵庫県本部
〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL078-392-0820 FAX 078-392-0920
http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail:jhyogo@jichiro-hyogo.jp



記念式典山下委員長あいさつ要旨

自治労運動の継承と 更なる運動の発展めざす



あいさつする山下忠之委員長

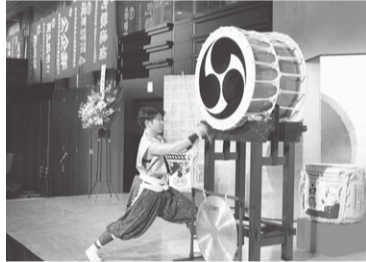
1954年1月24日に自治労兵庫県連として発足し、今日お集りの役員の方々の皆さんをはじめ、式典で表彰される諸先輩や先人の方々のご奮闘とご尽力によつて、組合員数3万人の県本部として今日の式典を迎えることができた。

現在、65歳定年延長の移行が始まり、そして50周年の減少とそれを上回る非正規職員数の拡大が進んでいる。また組合離れという事態も深刻化している。70周年が県本部の運動の終着点ではなく、次の80周年をさらに多くの仲間と迎えるためにも、これまでの

自治労運動の継承と、これからの社会変化の流れを見逃さず更なる発展にむけた運動のブラッシュアップに挑戦をしていきたい。県本部役員はもとより、県本部に集う各単組組合員とともに運動を展開していくためにも、引き続き単組のみならずの運動への結束と、来賓の方々からのご指導・ご鞭撻を賜りますことをお願いし、式典でのあいさつとする。



レセプションの最後を飾った三線サークル



和太鼓で幕開け



亜空亜SHINさんの変面

県本部は1954年1月に結成以来、今年で70周年を迎え、2月2日に神戸メリケンパークオリエンタルホテルで約220人が参加する中、記念式典とレセプションを開催した。式典では山下忠之委員長があいさつを行ったのち、石

上千博自治労本部委員長、歴代委員長を代表し小島修二元委員長、自治体議員連合からは加地幸夫神戸市会議員より祝辞を受け、自治労運動に貢献した55人を代表し三田市職労の橋本維文さんに感謝状を贈呈した。式典後は太鼓楽団大地の

県本部結成70周年 記念式典・レセプション

未来へ向け一歩前へ

三線サークルが大舞台で初デビュー

会最年少メンバーとして活躍中の山本孝輝さんによる和太鼓でレセプションを幕開けした。主催者あいさつの際、鏡開きを行い懇談中の来賓各位より祝辞を受け、各単組紹介画が流されたのち、音楽に合わせた軽快でアップテンポな演技で国内外のマジック大会で高

い評価を得ている亜空亜SHINさんが、中国伝統芸の変面とテールマジックを披露。また、戎副委員長が2016年に立ち上げた自主的な三線サークルが大舞台に初デビューし、演奏者は緊張しながらも会場に三線の音を響かせた。最後に小原王之副委員長



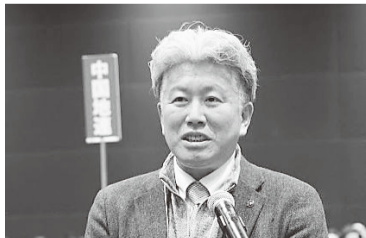
感謝状を受ける橋本さん

本部中央委員会

会計年度の取り組みを報告 議案は賛成多数で可決・承認

自治労本部は1月29〜30日の2日間、第165回中央委員会を東京で開催し、2024春闘方針や能登半島地震の復興支援、分権・自治を守るたたかいなど、当面の闘争方針を決定した。対面参加の中央委員、傍聴者、ウェブ傍聴者の合計550人(兵庫県本部からは13人)が参加した。

兵庫県本部からは戎副委員長が、会計年度任用職員をめぐる取り組みの成果と課題をテーマに、県本部確定闘争の重点課題であった俸給表の引き上げ改定の4月週及や次年度からの勤



兵庫から戎副委員長が発言

1日目は、中央本部から一般経過報告、2023自治

議案については、2024春闘方針(案)、当面の闘争方針(案)などが提案され、2日間にわたり質疑・討論を行った。いずれの議案も圧倒的多数の中央委員の賛成を得て可決・承認された。

真剣に向き合うほど、大変なわりに報われることが少なく、くじけそうになることが多い。仲間の存在やレクリエーションの楽しい時間は、それを乗り越え、前向きな気持ちにさせてくれるから不思議だ。

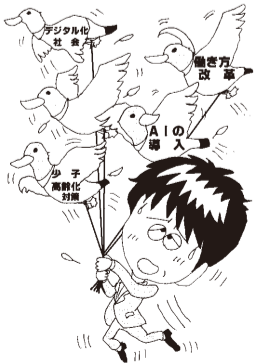
が「この間の諸先輩の功績に感謝するとともに、本日のレセプションを期に更なる未来へ向け全単組一致団結して一歩前へ進もう」とあいさつし閉会した。今後は70周年事業として様々な企画を計画。各単組組合員ご家族の積極的な参加をお願いする。

しこう

県本部結成70周年記念レセプションが盛大に開催された。ステージのトリをつとめた組合員有志による三線演奏も、不安はあったが、何とか無事に完奏することができた。演奏後、多くの式典参加者から好評をいただき、世話役としてホッと胸をなでおろした▼出演メンバーからも「緊張したけれど楽しめた」と嬉しい感想をもらった。普段は別の三線サークルで活動する仲間たちに初めて会った曲を演奏できたこと、ハレの舞台上で上手な演奏を見せたことなど、各メンバーが今後も三線を続け、さらなる上達をめざすきっかけになったと思う▼組合活動に真剣に向き合うほど、大変なわりに報われることが少なく、くじけそうになることが多い。仲間の存在やレクリエーションの楽しい時間は、それを乗り越え、前向きな気持ちにさせてくれるから不思議だ。

いまいち座

どこへ連れて行くんだ〜!!



大植 賢(豊岡市職労)

衛生医療評病院集会

相談窓口の整備が必要
パワハラについて意見交換

県本部衛生医療評議会
は神戸市教育会館で1月27日、病院集会をウェブ併用で開催し32人が参加した。基調では澤田拓実事務局長が「診療報酬改定的情勢、看護師等の確保推進、看護補助者の処遇改善事業、公立病院経営強化プランの策定状況」など12項目について提起し、情勢と課題の共有をはかった。

記念講演では川崎雅子新潟県職員労働組合医療部長より「早期退職防止」今働いてる人を大切に取る取り組み」と題して、ハラメントについての講演を受け、分散会を開催した。4つの分散会では「パワハラについては相談内容が誰にも分らないような窓口を設置するよう依頼もあり、当局交渉を行っている」「安全衛生委員会とリンクしてパワハラ撲滅の周知ルールを作る」「当事者は、大きな問題になってしまふことを懸念しており、組合として相談窓口の整備も必要として締めくくった。



川崎さんの講演

2月17日、神戸市職労と山口市職労、日田市職労、中津市職労の4単組が、神戸市内で「助け合い協定10周年」の調印式を行った。調印に先立ち、神戸市職労北川学執行委員長は「助け合い協定をさらに強固なものにして、多くの支援活動を行っていききたい」と述べ、調印する各単組の委員長からも、「引き続き支援の輪を広げたい」とのあいさつがされた。神戸市職労は、阪神・淡路大震災で全国から多くの支援を受けた感謝とお礼のため、国内外で起こる自然災害へカンパやボランティアなどの支援を行ってきた。山口、日田、



人事評価制度について学習

初日は県本部戎剛副委員長が「勤勉手当支給」と題して人事院勧告の仕組みから勤勉手当のあり方について具体的に説明。その後、淡路市職労の事例を挙げ、正規と同じように人材育成やモチベーション向上のため人事評価が使われることにはあっても、再度任用の際の評価基準として安易に使われることのないように交渉することなど注意点を確認した。また、2023年の確定闘争の結果として、

2日目は阪神淡路プロツクの橋本維文事務局次長が「人事評価」とはテーマに、日本での人事評価制度の成り立ちや公務員に人事評価制度が導入された背景について解説。人事評価制度を受け入れるにあたり、4原則「透明性・公平性・客観性・納得性」2要件「労働組合が評価制度設計・運用に関与できること」「不服申し立てができること」を自治労

臨職評学習合宿

臨職評学習合宿が、1月27〜28日に北野会館で行われ、24単組75人が参加した。今年度は2024年度から会計年度任用職員へ勤勉手当が支給されるにあたって導

人事評価制度への更なる理解深める

入される人事評価制度について、現状を踏まえ、今後どのように取り組むべきか講義を受け、情報交換を行った。

の確定闘争の結果として、県内27自治体で波及が行われたが、未組織自治体が4月週及に苦戦したことに加え、当事者運動の大切さと組織化することの意義を強く訴えた。

参加者からは「制度導入にあたり、今まで曖昧になっていた部分については、きつちりと交渉していきたい」「継続的に学習していくことが必要」など、今後に向けた意欲的な声が聞かれた。



春闘に向けて意思統一

津村崇夫事務局次長は「物価上昇の中、17500円の賃上げ要求と、政府が示した「労務費の適切な価格転嫁」を求めるとの春闘方針を提起した。学習会は、本部の本間誠一オルグが労使関係の基本的法律は多くあるが、賃金について取り上げられるのは労働組合だけ。格差是正や生活実態改善に向けて、春闘で取り組むことが重要」と述べた。

労務費の適切な価格転嫁を求める

公共民間協2024春闘学習会を2月3日、神戸市教育会館で開催し17人が参加。大野敏隆議長は「本部の春闘方針が示されているが、各職場の課題にあてはめ取り組みを進めて欲しい」とあいさつ。

参加者からは「制度導入にあたり、今まで曖昧になっていた部分については、きつちりと交渉していきたい」「継続的に学習していくことが必要」など、今後に向けた意欲的な声が聞かれた。

神戸市職労 助け合い10周年協定調印 4単組での協定継続を再確認



10周年の調印をした4単組

立憲民主党 参議院議員 岸まきこ ともに 全世代が安心して暮らせる 社会保障制度を 確立しよう! 自治労は、第27回参議院選挙の全国比例区に「岸まきこ」現参議院議員の擁立を決定しました。 岸まきこ 公式サイト kishimakiko.com/

長期共済 税制適格年金 余裕資金は退職後のために随時払へ! かしこく積み立てよう! 100万円を随時払すると20年で124万円に! (10万円から1万円単位で利用できます。) 100万円 払い込み UP! 5年 104万円 UP! 10年 110万円 UP! 15年 117万円 UP! 20年 124万円 20年 効率的にプラス! 長期共済では、他にも終身の医療保障や遺族(死亡)保障の用意があります。 全労済自治労共済本部資料より引用